



# めざせ! 南十字星

笑顔があふれ、しあわせを感じられる学校

学校便り

令和6年2月号

ヨハネスブルグ日本人学校

## 今年度の国際交流(6回)が全て終了しました。

令和6年が始まり、早くも2月を迎えました。2月の生活目標は、『友達との和を考えよう』です。今月始めの朝会で、生活指導主任より、「和」の意味を問いかけたところ、「平和の和であり、皆が友達と仲良くすることはとても大事なことだ」と答えていました。学校生活において、時には言い合いやけんかになることがあったとしても、解決していく過程もとても大事であり、人と人の関わりは、その後の人生に大きな影響や変化をもたらします。



今年度、6回の国際交流を行いました。学校の「国際理解教育」や「国際教育」のねらいは、地球的な視野をもち、国際人として自ら活躍し、世界の平和に貢献できる人としての育成です。

国際交流に向けた準備は、英会話はもちろんのこと、多くの話し合いや自分の役割を果たす必要があるため、負担感や責任感を伴います。今年度の国際交流をすべて終え、子供たちがやり遂げた自信とともに、今後の交流に向けた意欲ややりがいとなっていると感じました。これらの成長は、人生における強みとして大きく花開くのではないかと心から期待しています。

全学年の子供たちがでの理解することは難しかったのですが、全校朝会の講話として、以下の話をしました。お時間終わりの際に、ぜひご一読いただければありがたいです。

### 目玉焼きには何をかける？ 国際交流を終えて

昨日、エルムパーク・リタイアメント・ビレッジの方々との交流が終わりました。これで6回の国際交流を全て終了したことになります。

皆さんの振り返りの時の発表の言葉にあったように、南アフリカにあるオランダ孤児院、ワンダーランド幼稚園、2つの小中学校との国際交流、エルムパークでは、当然のことですが英語を使った会話が必要で、加えて自分の役割もたくさんあったと思います。ドキドキしたり、少し緊張したりしたこともあったと発表していた人もいました。



突然ですが、卵料理はたくさんありますが、例えば、目玉焼き 卵かけごはん ゆで卵、オムレツ、ポーチドエッグなどがありますが、皆さんは、どんな食べ方が好きですか。例えば、目玉焼きがあったとしたら、何をかけて食べるのが好きですか。塩、ソース、しょうゆ、マヨネーズもあるかも。

既に皆さんは、自分の好きな目玉焼きの食べ方があるかもしれません。もともと、目玉焼きと言っても、固い焼き方から黄身がとろとろの焼き方、ひっくり返して両面を焼くなどがありますね。人によって、好きな食べ方はたくさんあり、どれがよいかはその人次第です。

私たちは、6回の国際交流を通して、たくさんの人と出会い、たくさん学びをしてきました。特に重要なことは、多様な異文化の生活・習慣・価値観などについて、「どちらが正しく、どちらが誤っている」ということではなく、「違い」を「違い」としてお互いに認め合うことだと思います。

この違いを理解したり互いに似ていること、お互いの国の歴史や伝統、多種多様な価値観を尊重し合ったりする態度などがしっかりと身についたことを皆さん自身が感じていることをとてもうれしく思います。先生方も、英会話の上達だけでなく、物おじせず相手と会話したりゲームなどの活動をしたりなど、皆さんのすばらしい成長を感じています。

少し難しい話になりますが、国際交流を始めとする国際教育は、「国際社会において、地球的視野に立ち、主体的に行動するために必要と考えられる態度・能力の基礎を育成する」ために行うとされています。国際化が進んだ今、皆さん一人ひとりが国際社会の一員として、どのように生き、行動できるかが重要な要素になっています。そして、平和な社会の実現には、多様な文化や生活、価値観をもつ人々の理解と尊重が不

可欠です。皆さんの生活が他の国と密接に関わっていること理解できれば、お互いの関係を発展させるためのよりよい行動を考え、実践することにつながるからです。



ヨハネスブルグ日本人学校での日々の学習や生活、そして国際交流などで身に付けた力はとても重要です。将来、その力が自分の強みとして発揮され、世界平和の実現に大きく貢献している姿を想像しています。来年度の交流も頑張っていきましょう！